1. 教育計画

基礎看護学

分野	専門分野 基礎看護学	科目名	病気と看護をつなぐⅢ (脳神経)
単位・時間	病気と看護をつなぐⅢ運動器、感覚器と合わせて1単位・30時間(授業10時間)	対象学年	2年生
方法	講義	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	法人講師 菊池 知美(8時間)		
学習目標	脳神経・運動・感覚機能に障害のある人の看護を提供するための知識と技術を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院 成人看護学7 脳・神経		
参考文献	特になし		
履修上の留意	学生便覧「履修心得」の通り		
講師からの メッセージ	脳神経を実際に目で見ることはできません。そのため、脳神経疾患看護においては、患者さんの症状を観察し、アセスメントすることがとても大切です。特に急性期看護においては病態生理の理解がとても重要となります。病態生理に基づいた脳神経看護を一緒に学びましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	脳血管障害患者の看護	脳梗塞患者の看護 意識障害、言語障害、感覚障害、麻痺のある患者の看護(MMT含む) 摂食、嚥下障害患者の看護	講義	
2	2	〃	脳出血患者の看護 くも膜下出血患者の看護(術前～術後、回復期の看護、社会復帰の視点含む)	講義	
3	2	脳腫瘍患者の看護	脳腫瘍患者の看護 (術前～術後の看護含む)	講義	
4	2	神経内科疾患患者の看護	パーキンソン病患者の看護 筋委縮性側索硬化症患者の看護	講義	
5	2	評価	筆記試験		